

館長室へようこそ②

人生で最高的一天

図書館長 古川 聡

私の手元に『人生で最高的一天』という本がある(編集発行ともA-Works)。旅に出て幸せを見つけようというもので、世界を旅した人たちの感動した情景の写真が集められている。私にとって人生で最高的一天を振り返ると、長女とインドのデリーに降り立ち街の喧噪に驚かされた日、スリランカでゾウの上からシギリアロックを眺めた日、八ヶ岳の赤岳頂上から友人たちと黄金色に輝く朝日を見た日、列車でパリ東駅に降り立った日などがすぐに思い出される。

だが、そのような旅の中だけに最高的一天があるのではない。暗い浪人生活と想定外の入院、そして手術を終えて大学に入学した日、朝まで友人と飲んで伊豆の砂浜で騒いだ日、初めて動物の手術をひとりできた日、卒業論文を書き終えて伊勢佐木町で打ち上げパーティをした日など、大学生活の中で体験したさまざまなできごとと私にとっての最高的一天になっている。

とはいえ、毎日すべてがこのように楽しい日や嬉しい日、満足できる日ばかりではない。もしかすると辛い日や悲しい日のほうが多いかもしれない。そのような喜怒哀楽のうねりに翻弄されながら時を重ねているのが私たちの人生なのである。感覚的には辛いできごとほど記憶に残ると思うだろうが、心理学の研究成果では、不満足な記憶は忘れられやすく満足する記憶ほど想起されやすいという特徴もある。それこそが生きていく術なのかも知れない。

新入生のみなさんにとって忘れられない日がこれまでに数多くあっただろう。それに優るとも劣らないほどの「人生で最高的一天」が、この国立音大での四年間の生活の中で何回もあるに違いない。あつてほしいと願う。そのためにも様々なことに積極的にチャレンジし、新しい世界を切り拓いていくことが必要だ。そのサポートをしていこう。

耐震改修工事報告⑤ ……つづき

◇1/25に3階、4階がリニューアルオープン!

でもまだまだ工事は続きます。

1月25日に図書館の3階、4階がリニューアルオープンしました。新しいフロアは、いくつかのスペースに分かれていて、各スペースにはいろいろな座席が用意されています。みなさんもお気に入りの場所を探してくださいね。これから案内表示や情報提供を充実し、わかりやすく、使いやすい図書館にしていきます。

3、4階がリニューアルした一方、メインフロアの2階は工事に入りました。2階から4階までの全フロアのオープン、今年の冬になる予定です。まだまだ工事の音や振動が続きます。正面入口をはじめ、利用できないエリアもあります。学習席もパソコン席も少なくなっています。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

